

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 ハチバン

コード番号 9950

URL <http://www.hachiban.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 後藤 克治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長

(氏名) 酒井 守一

TEL 076-292-9950

四半期報告書提出予定日 平成28年7月27日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年3月21日～平成28年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,858	△3.9	1,714	△3.9	150	△16.6	234	△19.3	147	△15.8
28年3月期第1四半期	1,933	15.1	1,784	15.5	180	118.5	290	67.6	175	81.4

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 98百万円 (△64.2%) 28年3月期第1四半期 276百万円 (51.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	9.21	—
28年3月期第1四半期	11.26	—

(注) 営業収益は売上高と営業収入の合計であります。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
29年3月期第1四半期	6,055	73.4	4,480	71.7	—	—	279.36	
28年3月期	6,149	71.7	4,446	71.7	—	—	277.21	

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 4,443百万円 28年3月期 4,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
28年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00	
29年3月期	—	—	—	—	—	
29年3月期(予想)	—	2.00	—	20.00	—	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 平成28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 特別配当 2円00銭

2. 平成29年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 10円00銭

3. 当社は、平成28年9月21日を効力発生日とした普通株式5株を1株とする株式併合を行います。平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期(予想)期末の1株当たり配当金は4円(普通配当2円 記念配当2円)となり、1株当たりの年間配当金は6円となります。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年3月21日～平成29年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	3,882	△2.1	3,573	△2.4	315	△19.2	418	△16.0	255	△14.8	16.18	
通期	7,473	△2.2	6,882	△2.5	446	△15.8	562	△12.9	333	△11.5	105.62	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 営業収益は売上高と営業収入の合計であります。

2. 平成29年3月期通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月の業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は21円13銭となります。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	16,040,558 株	28年3月期	16,040,558 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	2,111 株	28年3月期	1,440 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	16,038,680 株	28年3月期1Q	15,584,923 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確かな要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数字と異なる場合があります。

(株式併合後の配当および業績修正について)

当社は平成28年6月16日開催の第46期定時株主総会において、平成28年9月21日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施する旨が承認可決されております。併せて同日付で単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の配当予想および連結業績予想は以下のとおりです。

1. 平成29年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期 2円(注1)  
期末 4円(普通配当2円 記念配当2円)(注2)

2. 平成29年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期21円13銭

(注1)第2四半期末の配当は、株式併合前の株式数に対して支払われます。

(注2)株式併合前に換算した配当額であります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、緩やかな回復基調が続きましたが、株式市場の低迷や円高の進行があり、企業収益の改善ペースの鈍化や個人消費の停滞感が続き、先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましても、消費者の節約志向は依然として強く、また人手不足を背景とした人件費関連コストの負担増、コンビニエンスストアなど異業種との競争が続くなど、引き続き厳しい状況が続いております。

一方、当社グループの国内における事業基盤がある北陸地方では、北陸新幹線開業2年目を迎え、JR主要駅周辺を中心とした賑わいは、落ち着きを示すようになりました。

このような状況のもと当社グループは、「食の安全・安心」の向上はもとより、より高品質・より健康志向の商品の提供、接客サービスの向上に努め、お客様の信頼を最優先に事業活動を展開いたしました。

当社グループの店舗展開の状況は、出店ショッピングセンターの改装に伴う閉店1店舗(タイ国)があり、店舗数は257店舗(前連結会計年度末比1店舗減)となっております。その内訳は、国内店舗ではらーめん店舗128店舗、和食店舗12店舗(合計140店舗)、海外店舗は117店舗であります。

以上の結果、8番らーめんフランチャイズチェーン既存店売上高は前年同期比0.2%増を確保できましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は17億14百万円(前年同期比3.9%減)、営業収益(売上高とロイヤリティ収入等の合計)は18億58百万円(同3.9%減)となりました。営業利益は1億50百万円(同16.6%減)、経常利益は2億34百万円(同19.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億47百万円(同15.8%減)となりました。

セグメント別の状況につきましては次のとおりであります。

## ①外食事業

## (らーめん部門)

8番らーめんフランチャイズチェーンの国内展開を主とするらーめん部門では、店舗の改装・移転による店舗イメージの刷新、より高品質・より健康志向の商品の提供、接客サービスの維持向上に取り組み、来店客数の増加に努めております。

主力商品である「野菜らーめん」の品質向上を継続するとともに、調理資格であるフライパンマイスター、接客サービス資格であるサービスマイスターや接客リーダーの各社内資格の取得を推奨し、そのための講習会もチェーン全体で展開しております。

これらの諸施策の結果、8番らーめんフランチャイズチェーン既存店売上高は、前年同期比0.2%増を確保することができました。

店舗展開の状況につきましては、富山県で加盟店の新築移転と改装を各1店舗実施し、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は128店舗(うち加盟店115店舗、直営店13店舗、前連結会計年度末比同数)となりました。

## (和食部門)

和食料理店を直営店方式により展開する和食部門においては、季節の変化に応じた健康志向メニューの提供に取り組み、固定客ファンの獲得、来店頻度の向上に努めております。

「地酒と手造り料理 八兆屋」で販売している「季節のそば膳」は、お客様からの支持を集め、ランチタイムの主力メニューとなっております。

既存店売上高は、これらの営業諸施策による来店顧客のリピート向上に努めましたが、前年同期の北陸新幹線開業効果には及ばず、前年同期比2.2%減となりました。

当第1四半期連結会計期間末の店舗数は12店舗(前連結会計年度末比同数)であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益(売上高とロイヤリティ収入等の合計)は15億76百万円(前年同期比2.1%減)、経常利益は2億56百万円(同1.7%減)となりました。

## ②外販事業

当社製品を主要販売品目とする外販事業は、より付加価値のある商品の開発と提案に努め、生麺ブランド「八番麺工房」、冷凍生餃子を地元スーパーマーケット様を始めとして、国内各地の生活協同組合様、量販店様を中心に販売の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、より厳しさを増す生麺市場の販売競争の中で、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億66百万円(前年同期比2.5%減)、経常利益は6百万円(同17.5%減)となりました。

## ③海外事業

8番らーめんフランチャイズチェーンの海外展開ならびに主としてラーメンスープ・エキス等の食材の輸入と販売を行う海外事業においては、既存出店地域での新規出店、スクラップアンドビルドに取り組むほか、高品質なラーメンスープ・エキスの開発と生産体制の充実増強に努めております。

当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、タイ国でショッピングセンターの改装による1店舗の閉店があり、117店舗（うちタイ国110店舗、香港7店舗、前連結会計年度末比1店舗減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は、スープ・エキス売上の減少とタイパーツ為替レートの円高進行による海外ロイヤリティ収入の減少があったことにより、1億15百万円（前年同期比23.8%減）、経常利益は47百万円（同16.4%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ94百万円減少して60億55百万円（前連結会計年度比1.5%減）となりました。これは主に、流動資産その他が99百万円、売掛金が70百万円増加したものの、現金及び預金が1億79百万円、投資有価証券が75百万円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1億28百万円減少して15億74百万円（前連結会計年度比7.5%減）となりました。これは主に、未払法人税等が65百万円、未払費用が49百万円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ34百万円増加して44億80百万円（前連結会計年度比0.8%増）となりました。これは主に利益剰余金が83百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が44百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期及び第2四半期（累計）における連結業績予想は、平成28年4月28日に公表しました「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した数値から修正しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	794,679	614,786
売掛金	442,117	512,893
商品及び製品	78,094	80,573
原材料及び貯蔵品	21,182	23,287
繰延税金資産	65,743	69,848
その他	128,402	228,339
流動資産合計	1,530,219	1,529,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	838,445	822,904
機械装置及び運搬具(純額)	342,306	334,667
工具、器具及び備品(純額)	185,158	174,499
土地	1,073,094	1,073,094
建設仮勘定	3,145	23,805
有形固定資産合計	2,442,150	2,428,972
無形固定資産	35,551	32,485
投資その他の資産		
投資有価証券	1,433,722	1,358,152
長期貸付金	113,900	110,483
関係会社出資金	59,920	59,920
差入保証金	308,705	309,191
保険積立金	218,783	219,543
その他	28,569	28,625
貸倒引当金	△22,298	△21,890
投資その他の資産合計	2,141,302	2,064,025
固定資産合計	4,619,005	4,525,483
資産合計	6,149,224	6,055,211

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	273,260	282,391
短期借入金	69,996	69,996
未払法人税等	158,663	92,835
賞与引当金	87,362	130,940
役員賞与引当金	30,000	30,000
未払費用	338,698	289,637
その他	134,791	110,570
流動負債合計	1,092,771	1,006,372
固定負債		
長期借入金	107,347	89,848
長期未払金	213,751	213,751
繰延税金負債	122,291	94,269
長期預り保証金	166,711	170,321
固定負債合計	610,100	568,189
負債合計	1,702,872	1,574,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,518,454	1,518,454
資本剰余金	1,454,244	1,454,244
利益剰余金	1,116,144	1,199,809
自己株式	△848	△1,244
株主資本合計	4,087,994	4,171,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	322,670	277,706
為替換算調整勘定	△1,621	△5,401
その他の包括利益累計額合計	321,048	272,304
非支配株主持分	37,309	37,081
純資産合計	4,446,352	4,480,649
負債純資産合計	6,149,224	6,055,211

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年6月20日)
売上高	1,784,307	1,714,662
売上原価	893,692	865,788
売上総利益	890,615	848,874
営業収入	149,596	144,288
営業総利益	1,040,212	993,162
販売費及び一般管理費		
運賃	68,853	70,434
役員報酬	25,839	26,616
給料及び手当	331,847	307,435
賞与引当金繰入額	38,709	38,702
退職給付費用	4,437	4,256
地代家賃	69,864	65,827
水道光熱費	43,665	37,451
減価償却費	24,911	25,575
その他	251,474	266,196
販売費及び一般管理費合計	859,604	842,495
営業利益	180,608	150,667
営業外収益		
受取利息	2,168	641
受取配当金	101,722	84,298
受取地代家賃	10,839	9,651
持分法による投資利益	1,982	2,194
その他	4,348	3,388
営業外収益合計	121,061	100,173
営業外費用		
支払利息	766	234
貸貸費用	10,578	9,485
為替差損	—	6,770
その他	31	14
営業外費用合計	11,377	16,504
経常利益	290,292	234,336
特別損失		
固定資産除却損	32	15
特別損失合計	32	15
税金等調整前四半期純利益	290,260	234,321
法人税、住民税及び事業税	124,000	86,500
法人税等調整額	△11,342	△1,487
法人税等合計	112,657	85,012
四半期純利益	177,602	149,309
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,038	1,487
親会社株主に帰属する四半期純利益	175,563	147,821

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年6月20日)
四半期純利益	177,602	149,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97,553	△44,964
為替換算調整勘定	533	△3,362
持分法適用会社に対する持分相当額	435	△2,132
その他の包括利益合計	98,523	△50,459
四半期包括利益	276,125	98,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	273,813	99,077
非支配株主に係る四半期包括利益	2,311	△227

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年3月21日 至平成27年6月20日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注) 1						
外部顧客への営業収益	1,611,327	170,712	151,865	1,933,904	—	1,933,904
セグメント間の内部営業収益又は振替高	127,189	3,195	16,759	147,144	△147,144	—
計	1,738,516	173,908	168,624	2,081,049	△147,144	1,933,904
セグメント利益	260,887	7,636	57,174	325,698	△35,406	290,292

(注) 1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額△35,406千円には、各セグメント間取引消去416千円、各セグメントに配分していない全社費用△35,822千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年3月21日 至平成28年6月20日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注) 1						
外部顧客への営業収益	1,576,767	166,393	115,789	1,858,950	—	1,858,950
セグメント間の内部営業収益又は振替高	115,080	3,186	20,518	138,785	△138,785	—
計	1,691,848	169,579	136,307	1,997,735	△138,785	1,858,950
セグメント利益	256,345	6,300	47,804	310,450	△76,114	234,336

(注) 1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額△76,114千円には、各セグメント間取引消去258千円、各セグメントに配分していない全社費用△76,373千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。